

令和3年度 全国合同会議

国立障害者リハビリテーションセンター
発達障害情報・支援センター



国立障害者リハビリテーションセンター病院 病院長

発達障害情報・支援センター センター長

西牧 謙吾



国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センターについて

<http://www.rehab.go.jp/ddis/>

国立障害者リハビリテーションセンターは、障害のある方々の自立及び社会参加を支援し、医療から職業訓練まで一貫した体系で各サービスを提供しているほか、リハビリテーション技術・福祉機器の研究開発、リハビリテーション専門職の人材育成等を行っています。自立支援局、病院、研究所、学院、企画・情報部、管理部の6部門があり、発達障害情報・支援センターは企画・情報部に設置されています。

発達障害情報・支援センターでは、発達障害に関する研究成果等の情報やその他さまざまな情報の発信を通し、支援手法の普及や、国民の理解の促進をはかっています。

《あゆみ》

- 平成20(2008)年 3月 「発達障害情報センター」開設(厚生労働省内)
- 同年10月 国立障害者リハビリテーションセンター 研究所に移管
- 平成22(2010)年 1月 ウェブサイト全面リニューアル
- 平成23(2011)年10月 「発達障害情報・支援センター」に改称
- 平成25(2013)年 5月 国立障害者リハビリテーションセンター
企画・情報部へ移行
- 平成29(2017)年 4月 内外の連携強化を新機軸として打ち出す
- 令和 3(2021)年 9月 ポータルサイト「発達障害ナビポータル」
オープン





情報収集

- 正確でエビデンスのある情報の収集および整理
- 発達障害に関する研究情報、イベント情報の収集および整理

情報分析

- 有識者、研究者等を招集し、情報分析会議で検討
- 記事の執筆及び定例会議にてウェブサイト掲載記事の確認

情報発信

- ウェブサイト運営（週1回更新）
- 全国の発達障害者支援センター等への情報提供



連携

- 国立のぞみの園
- 発達障害者支援センター
- 発達障害教育推進センター

調査・研究

- 厚生労働科学研究
- AMED
- 東日本大震災の被災地での調査等



発達障害情報・支援センター
Information and Support Center for Persons with Developmental Disorders
国立障害者リハビリテーションセンター

発達障害に関する国民の理解を促進し、発達障害のある人たちが自信や誇りをもって生活できるように、信頼のおける情報を提供するとともに、様々な形での間接支援を行っています。

教育・福祉連携推進

- トライアングル・プロジェクトの実現
- 教育分野と福祉分野のコーディネート

自治体訪問

- 厚生労働省、外部専門家と連携して自治体を訪問
- 発達障害支援体制の整備、構築を支援
- 自治体の好取組事例を情報収集



普及・啓発

- 支援者向けセミナーの開催
- 世界自閉症啓発デー日本実行委員
- 国研修の企画、立案
- 全国合同会議の主催



地域支援推進

- 地域の困難事例の把握と支援の協働
- 好事例の情報収集
- 地域における研修の企画、開催
- 地域支援マネジャー全国会議の開催



国立障害者リハビリテーションセンター

発達障害情報・支援センター

<http://www.rehab.go.jp/ddis/>

発達障害情報・支援センターウェブサイトでは、発達障害情報・支援センターで収集・分析した、正確かつ信頼ある情報を、さまざまな立場の方に利用しやすい形で提供しています。

新着情報

週1回最新情報をお届けしています

【コンテンツのご案内】

- 発達障害に**気づく**
- こんなとき、**どうする？**
- 発達障害を**理解する**
- 発達障害を支える、さまざまな**制度・施策**
- 日本の取り組み・**世界の動き**
- 相談窓口の**情報**
- 発達障害に関する**資料**



気づく	どうする？	理解する	制度
日本と世界	相談窓口	資料	当センターについて

はったつしょうがい かん がいこくじんほごしゃむ ばんふれっと
発達障害に関する外国人保護者向けパンフレット



「お子さんの発達について
心配なことはありますか？」
(18言語版)

災害時の発達障害児・者支援について



被災地での発達障害児・者の支援
方法に関する資料等

イベント情報

研修会やセミナーなどの情報
を掲載しています

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

関連する情報を掲載しています

「イベント情報」のページ

【重要】「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の関連情報」のページ

皆様の声をお聞かせください

当ホームページの情報発信の質の向上のため、皆様からのご意見、ご要望をお聞かせください。下のバナーをクリックいただき、アンケートにご協力ください。

[アンケートのお願い](#)

ツイッターも公開しています

当ホームページの新着情報やトピックなどの情報を配信しています。下のバナーをクリックし、当センターのツイッターアカウントをフォローしてください。

[@DDIS_REHAB](#)

発達障害ナビポータル

福祉、教育、医療、保健、労働と多くの分野をまたがり存在する発達障害に関する情報を整理し、皆様に提供することを目的に構築したポータルサイトです。

[発達障害ナビポータル](#)



ツイッター

ツイッターより最新情報を投稿しています



ポータルサイト入口

発達障害ナビポータルへ

外国人保護者向け多言語版パンフレット等の作成

- ・近年の時代の変化に伴い、外国にルーツをもつ発達障害児とその家族の増加が想定される
 - ・各地の拠点機関等(発達障害者支援センター)においても、説明用資料の多言語化に対するニーズが高いことが確認された。
- ➔ 外国人保護者に対して、必要な福祉・教育情報の提供を行う体制を整える必要がある。

■外国人保護者向け多言語版パンフレット等の作成

【対象】 日本で子育てをしている外国人保護者(特に子どもの発達について心配なことがある方)および支援者

【作成物】 『お子さんの発達について心配なことはありますか?~日本で子育てをする保護者の方へ~』

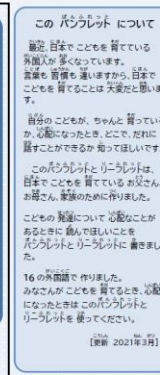
○パンフレット冊子(22頁)



○リーフレット(A4用紙両面1枚)



○周知用チラシ(三つ折りリーフレット) New



<平成30年度> 原案【やさしい日本語版】【英語版】発行

<令和元年度> 【中国語版】【スペイン語版】【ポルトガル語版】【タガログ語版】【ベンガル語版】【ベトナム語版】【インドネシア語版】【韓国語版】【ネパール語版】【ミャンマー語版】【タイ語版】発行

<令和2年度> 【ヒンディー語版】【モンゴル語版】【ウルドゥー語版】発行

<令和3年度> 【クメール語版】New 【フランス語版】New 発行

➔ 計18言語版

<令和3年度の取組>

- ・国立特別支援教育総合研究所の研究班「外国につながるの児童生徒への特別支援教育」への参画。
- ・パンフレット等のユーザーの声をひろうためのWEBアンケートフォーム作成・運用開始



周知用チラシ (やさしいにほんご版)

にほん こぞだ
日本で子育てをしている
とう かあ
お父さん、お母さんへ

はったつ
子どもの発達について
しんばい
心配なことはありますか？

Do you have concerns
about your child's
development?

~For parents raising children in Japan~



このパンフレットについて

さいきん にほん
最近、日本で子どもを育てている
がいこくじん おお
外国人が多くなっています。
ことば しゅうかん ちが にほん
言葉も習慣も違いますから、日本で
子どもを育てることは大変だと思いま
す。

じぶん の子どもが、ちゃんと育てている
か、心配になったとき、どこで、だれに
はな 話すことができるか 知ってほしいです。

このパンフレットとリーフレットは、
にほん で子どもを育てている お父さん、
お母さん、家族のために作りました。

子どもの発達について 心配なことが
あるときに読んでほしいことを
パンフレットとリーフレットに書きました。

16の外国語で作りました。
みなさんが子どもを育てるとき、心配
になったときはこのパンフレットと
リーフレットを使ってください。

こうしん ねん がつ
[更新 2021年3月]

【読んでもらいたい人】

- ◆日本にほんで子どもを育てているお父さん、
お母さん、家族かあ かぞく
(子どもの発達はったつが心配しんばいな人)
※相談そうだんしている人がいたら、一緒にいっしょ
読んでください。

子どもの発達について

パンフレットがあります

16の外国語がいこくごで子どもの発達はったつについて
知ることができます。
うしろにQRコードこーどがあります。

【パンフレットに書いてあること】

- ◆発達障害はったつしょうがいについて知ることができます。
- ◆子どもの発達はったつについて相談そうだんできる
場所・人ばしょ ひとについて書いています。
- ◆子どもの発達はったつについて、病院びょういんで
相談そうだんする前に読んでほしいこと
- ◆障害者手帳しょうがいしゃてちょうについて知ることが
できます。

【やさしいにほんご版】
パンフレットはこちらから



★アンケート協力きょうりょくのお願い
このパンフレットがどのような
分野の方々に利用されている
のか等、活用状況を把握し、よ
り内容を充実させることを目
的に、WEBアンケートを実施し
ています(所要時間は約5分)。
こちらのQRコードより、ご協
力、よろしくお願いいたします。



< 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う取組 >



【1. HPでの関連情報発信】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する情報をまとめたページを作成しました。発達ご家族、支援者の方々に活用していただくことを想定しています。今後もひきつづき適宜アップデートしております。ぜひともご利用いただけますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響についてのアンケート

今、全国の学校現場や職場では＜新しい生活様式＞への取組みがすすめられています。このようは、とまどいや回りを感ずることがあるかもしれません。そこで、発達障害の皆様が＜新しい生活様式＞への取組みを通して、どのような影響を受けているかアンケートを実施しました。ご協力いただいた皆様に、お礼申し上げます。今回の結果は【速報】となりますが、今後、自由記述部分なども詳しく分析し、ホームページに掲載いたします。

調査対象：①発達障害の当事者 ②発達障害児者の保護者／家族

【2. 啓発チラシ等の作成】

みんながコロナをたいじ! まけない!

- こまめに手をあらって
- 口とはなはできるだけかくして
- なるべく(1~2m)人とのきよりをあけて
- たいちょうがわるいときはやすんでOK
- いえからでなくてもいいならそれでOK
- じぶんでわからないときはそうだんしてOK
- まどをあけてくうきのいれかえをする
- けんおん(ねつをはかること)する
- ながいたたかになるかもでもたいじできる
- いっしょにすんでいる人にねつがあったらへやをわける

【3. 当事者・家族向けアンケート】

＜新しい生活様式＞の実践がすすめられる中、発達障害児者がどのような困りや生活の変化等を感じているのか把握することを目的に、当事者・家族向けWEBアンケートを実施(R2.7~8)。

【結果報告(速報)】
新型コロナウイルス感染症の影響についてのアンケート
—当事者の皆さんから寄せられた声—

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部
発達障害情報・支援センター
2020年9月4日 発行

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う発達障害児者および家族への影響
—当事者・家族向けアンケート調査結果より—

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部
発達障害情報・支援センター
(掲載日:令和2年11月8日)

【結果報告(速報)】 R2.9発行

【調査結果報告書】R3.1発行

- ＜新しい生活様式＞の実践が求められる中、多くの発達障害児者が日常生活で様々な影響を受けていることが示されました。
- 感覚過敏等、発達障害特有の困りを抱えている場合もあり、周囲への理解啓発に向けた取組みの必要性も示唆されました。ご家族は、本人が過ごしやすくなるよう、様々な工夫をされていました(本人に合わせた素材のマスク作り、感染予防の必要性を視覚的に理解しやすいよう伝える等)。
- 睡眠の問題をはじめとする、何らかの不調や心配ごとが増したと感じている当事者の割合は高かったです。一方、外出や他者と接する機会の減少によって、身体的・精神的負担が軽減する等、何らかのメリットを捉えた回答も一定数見られました。
- 自由記述での回答も多数寄せられ、当事者の声として貴重な資料を得ました。

リーフレット「被災地で、発達障害児・者に対応されるみなさんへ」 地域での作成等、協力させていただきます。

災害時の発達障害児・者支援について

被災地における、発達障害のある人やご家族の生活には、発達障害を知らない人には理解しにくいさまざまな困難があります。
そんなとき、発達障害児・者への対応について少しでも理解して対応できると、本人も周囲のみんなも助かります。

対応のコツ

★ 発達障害のある人は、見た目では障害があるようには見えないことがあります。対応にはコツが必要です。
コツの探し方：家族など本人の状態をよくわかっている人にかわり方を確認しましょう。

こんな場合は…

■ 変化が苦手な場合が多いので、不安から奇妙な行動をしたり、働きかけに強い抵抗を示すことがあります。

■ 感覚刺激過敏：周囲が想像する以上に過敏なため、大勢の人がいる環境が苦痛で避難所の中に入れないことがあります。
鈍感：治療が必要なのに平気な顔をしていることもあります。

■ 話しことは聞き取るのが苦手だったり、困っていることを伝えられないことがあります。

■ 見通しの立たないことに強い不安を示します。学校や職場などの休み、停電、テレビ番組の変更などで不安になります。

■ 危険な行為がわからないため、地盤のゆるいところなど危ない場所に行ってしまうたり、医療機器を触ってしまうことがあります。

このように対応…

● してほしいことを具体的に、おだやかな声で指示します。
例：○：「このシート（場所）に座ってください。」
×：「そっちへ行ってはダメ」
● スケジュールや場所の変更等を具体的に伝えます。
例 1：○：「○○（予定）はありません。□□をします。」
×：強引に手を引く
例 2：○：「○○は□□（場所）にあります。」
×：「ここにはない」とだけ言う

● 居場所を配慮します。
例：部屋の角や別室、テントの使用など、個別空間の保証
● 健康状態を工夫してチェックします。
例：ケガの有無など、本人の報告や訴えだけでなく、身体状況をひと通りよく見る。

● 説明の仕方を工夫します。
例：文字や絵、実物を使って目に見える形で説明する
一斉放送だけでなく、個別に声をかける
簡潔に具体的に話しかける
例：○：お母さんはどこですか？
×：何が困っていませんか？

● 安定したリズムで日常が送れるように、当面の日程の提案や、空いた時間を過ごす活動の提示が必要です。
例：○：筆記具と紙、パズル、図鑑、ゲーム等の提供
○：チラシ配りや清掃などの簡単な作業の割り当て
×：何もしないで待たせる

● ほかに興味のある遊びや手伝いに誘う。
● 行ってはいけないところや触ってはいけない物がはっきりとわかるように「×」などの印をあらかじめ付ける。

ご家族のかたへ

★ 子どもは、他人に起こったことでも自分のことのように感じる場合があります。さらに発達障害がある場合には、想定以上の恐怖体験になってしまうこともあります。子どもには災害のテレビ映像などを見せずに、別のことで時間を過ごせるような工夫をすることが必要です。

★ 災害を経験した子どもは、災害前には自分ひとりできていたこともしなくなったり、興奮しすぎてしまうことがあります。発達障害がある場合でも、基本的には子どもの甘えを受け入れてあげるのがよいでしょう。叱ったりせず、おだやかな言葉かけをしながら、少しずつ子どもが安心できるようにすることが大切です。

健康状態や心身の疲れを確認しましょう

からだ

★ 発達障害のある人は、体調不良やケガがあるにもかかわらず、本人自身も気づいていない場合があります。周囲が気づかずにそのまま放置すると、状態が悪化してしまう場合がありますので、ていねいな観察と聞き取りが必要です。

気づくための観察例

・息切れ、顔などが蒼白でないか。
・やけどや切り傷、打撲などがないか。
・着衣が濡れていても着替えないでいるか。

気づくための質問例

・いつもより書かないですか？
・歩くときにふらふらしませんか？
・箸のこぶ、腕や足にケガがありませんか？
・振の音聴えがありませんか？

ストレス

★ なにげないことでも、発達障害のある人には日常生活に困難をきたすくらい苦痛に感じることがあります。そのためストレスの蓄積がより起きやすく、支援を優先的に考えなければならない場合があります。

気づくための観察例

・好き嫌いによる食へ残しが多くないか。
・配給のアップスがあっても、反応が激しかったり、どこに行ってもいかわからず困っていることがないか。
・耳ふさぎや目隠しなど、刺激が多いことで苦しそうな表情をしていないか。

気づくための質問例

・食べられない食材はありましたか？
・配給に並び場所がわかりましたか？
・ほかの場所（避難所内外）へ移動したいという希望はありますか？

家族の状態を確認しましょう

家族へのサポート

★ 災害の影響で子どもと家族が離れられなくなる場合や、避難所の中で理解者が得られない場合などに、家族のストレスは高まります。本人の支援を一番長い時間担当する、家族のサポートを迅速に行うことは効果的といえます。

■ 配給や買い物、役所や銀行などの手続きに行けずに困っている場合
■ 水や食料、毛布などの配給時に、ずっと待ってられないで寝てしまう子どもがいた場合
家族の代わりに子どもの相手をしたり、発達障害の特性を家族の了解のもとで周囲の人たちに説明していただく、家族はたいへん助かります。

対応に協力してくれる人が周囲にいるか確認しましょう

協力者の確認

★ 発達障害のある人は、ひとりひとりの健康状態や、ストレスの蓄積につながる状況などがさまざまで、対応方法が見つけにくいことがあります。個別的な配慮が必要になる場合は、周囲に本人をよく知っている人がいるか、その人は対応に協力してもらえそうかを確認しておく必要があります。

相談窓口

発達障害者支援センター
北海道発達障害者支援センター「おおいそら」
北海道釧路市石川町 90-7 2F TEL 0138-46-0851
北海道発達障害者支援道東地域センター「きら星」
北海道帯広市西 25 条南 4 丁目 9 番地 TEL 0155-38-8751
北海道発達障害者支援道北地域センター「きたのまち」
北海道旭川市宮前 1 条 3 丁目 3 番 7 号「おびた」内 TEL 0166-38-1001
札幌市自閉症・発達障がい支援センター「おがる」
北海道札幌市東区東陸 12 条 4-1-5 TEL 011-790-1616

- ・ 掲示用と配布用(三つ折り)があります。
- ・ 各地の相談窓口など、ご要望に応じて記載します。

事前に備えておきたい場合など、お気軽にご相談ください。

令和3年度 発達障害者地域支援マネジャー全国会議

【日時】 2021.12/3(金)9:00～16:30

【テーマ】「地域支援マネジャーの効果的な地域
作りについて」

【内容】 行政説明、基調講演、事例提供、GW

• 基調講演

「地域特性に応じた支援ネットワーク構築」

小倉 正義氏(鳴門教育大学発達臨床センター所長
/徳島県地域支援マネジャー)

• 事例提供①岐阜県発達障害者支援センター

②札幌市発達障害者支援センター・地域支援マネジャー

【申込者数】 70 名

当日参加者 63 名(午前のみ参加:11 名)

—参加者のうち、地域支援マネジャー 29 名

時間	内容	備考
8:45～	入室開始	
9:00～	開会 ・主催者挨拶 発達障害情報・支援センター長 西牧 謙吾 ・オリエンテーション(情報提供「発達障害ナビポータル」)	
9:10～	あいさつ・行政説明 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 障害児・発達障害者支援室 発達障害対策専門官 加藤 永蔵	
9:20～	基調講演 「地域特性に応じた支援ネットワーク構築」 鳴門教育大学 発達臨床センター所長 徳島県(発達障がい者総合支援センター)地域支援マネジャー 小倉 正義	講義 90分
10:50～	質疑応答	10分
11:00～	休憩	
11:10～	グループワーク 自己紹介	45分
12:00～	休憩 昼休み グループコミュニケーションタイム(自由参加)	
13:00～	事例提供1 岐阜県発達障害者支援センター 石川 里美	報告15分 質問15分
13:30～	事例1 グループワーク	45分
14:15～	事例1 グループ発表	15分
14:30～	休憩	5分
14:35～	事例提供2 札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 発達障害者地域支援マネジャー 石田 昭人	報告15分 質問15分
15:05～	事例2 グループワーク	45分
15:50～	事例2 グループ発表	15分
16:05～	休憩	5分
16:10	総評 鳴門教育大学 発達臨床センター所長 小倉 正義	20分
16:30	閉会	

★ 令和4年度も開催予定です ★

令和3年度 発達障害者支援センター全国連絡協議会ブロックとの 合同企画研修会(支援者向けWEB研修会)

ブロック名 (幹事センター)	日時	テーマ	講師	受講者数
中国・四国 (広島市発達障害者 支援センター)	【LIVE】 9/4(土)14:00~17:00 【オンデマンド配信】 9/7(火)~9/29(水)	「発達障害者の高齢期支援」	日詰 正文氏 (国立のぞみの園研究部部長)	申込者:109名 ・当日参加:70名 ・オンデマンド:39名
関東 (千葉市発達障害者 支援センター)	【LIVE】 10/23(土)9:20~12:00 【オンデマンド配信】 10/26(火)~11/30(火)	「発達障害のある子どもと 家族への支援 ~子育てに困難を抱えた保護者 をいかに支えるか~」	吉川 徹氏 (愛知県医療療育総合セン ター中央病院 児童精神科部 長/ あいち発達障害者支援 センター 副センター長)	申込者:165名 ・当日参加:41名 ・オンデマンド:124名
中部・北陸 (新潟県発達障害者 支援センターRISE)	【LIVE】 2022 1/24(月)13:15~17:00 【オンデマンド配信】 2/1(火)~2/28(月)	①「発達障害と精神疾患の 合併」 ②「発達障害児者とゲーム やネットとのつきあい方」	①内山 登紀夫氏 (大正大学教授/よこはま発達 クリニック院長) ②関 正樹氏 (大湫病院児童精神科)	申込者:1,598名 ・当日参加:260名 ・オンデマンド:1,335名
九州・沖縄 (長崎県発達障害者 支援センター)	【LIVE】 2/4(金)14:00~17:30 【オンデマンド配信】 2/14(月)~3/14(月)	①「発達障がい児・者の 家族を支える」 ②「きょうだい-障がいの ある人の家族との対話-」	①井上 雅彦氏 (鳥取大学大学院教授) ②諏方智広氏 (きょうだいの会横浜代表)	申込者:338名 ・当日参加:90名 ・オンデマンド:248名

※中部・北陸ブロックおよび九州・沖縄ブロック合同企画研修については、講師陣の提案もあり、前半(講演部分のみ)受講対象を拡大。
後半はセンター職員と地マネに参加を限定し、GW+講師コメントを予定。



発達障害ナビポータル 2021.9.30OPEN!

<https://hattatsu.go.jp/>

国が提供する発達障害に特化したポータルサイトです。
発達障害に関する信頼のおける情報を提供します。

国立障害者リハビリテーションセンター
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

発達障害ナビポータルは、国が提供する発達障害に特化したポータルサイトです。発達障害に関する信頼のおける情報を皆様へ提供します。



ポータルサイトのご案内

国が提供する発達障害に特化したポータルサイトです。
発達障害に関する信頼のおける情報を総合的に提供します。



【サイトについて】

1. トップメニュー

すべてのページに共通して掲載されるメニューと、検索窓があります。また、ルビあり・ルビなしの選択や、多言語対応(5言語)で、幅広くご利用いただけます。表示画面の色調や文字の大きさを変更できるボタンも配置しています。

2. 注目情報

クローズアップしてお知らせする情報を、自動的に入れ替わるスライダー形式で表示します。

3. 分野別の記事

ご本人・ご家族向けの情報と支援者向けの4つの分野別情報(教育、医療・保健、福祉、労働)を紹介しています。

4. 新着情報

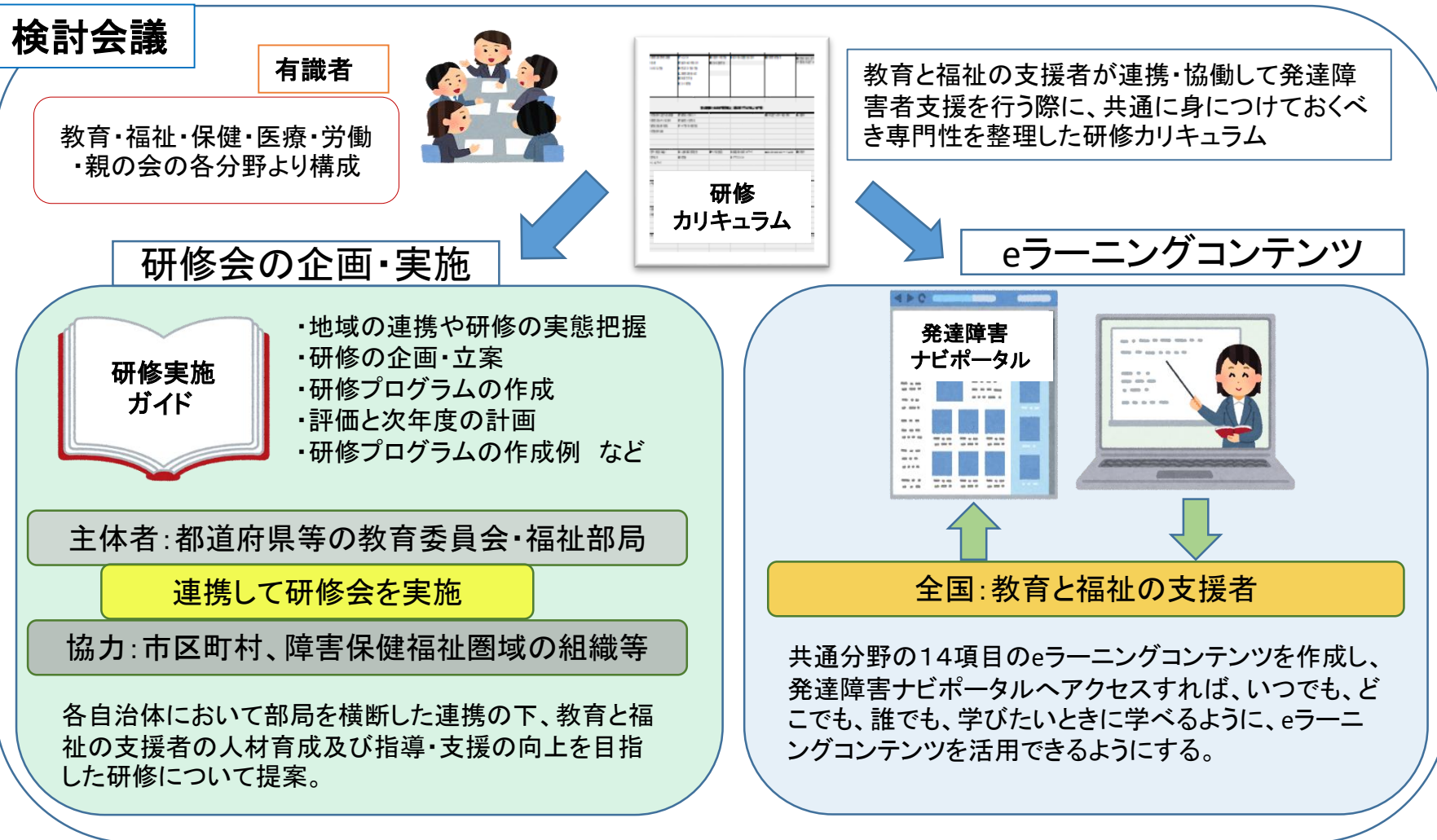
最新の情報をお知らせします。トップページには直近5件が表示されます。

5. 特集記事

発達障害に関するテーマ別の特集記事を掲載します。

教育と福祉の連携に関する発達障害者支援人材育成

令和元年、2年で作成した研修カリキュラムを元に検討会議委員が中心となり、令和3年に、その活用について検討し、**研修実施ガイド**、**共通分野の項目についてeラーニングコンテンツ**を作成した。
令和4年度から、発達障害に係る教育と福祉の支援人材育成及び専門性向上を図る予定。



eラーニングコンテンツ

- ・共通分野14項目
- ・各項目90分程度
(15～30分の複数のコンテンツで構成)
- ・初学者を受講対象
- ・いつでも、どこでも、何度でも学べる
- ・研修会の教材としても使用可能
- ・発達障害ナビポータルに格納し、
令和4年度より運用開始

基礎知識	発達障害の障害特性の理解
	発達心理
	切れ目のない支援
指導・支援	アセスメント
	支援の計画の作成と活用
	特性に応じた指導・支援
	併存障害の理解と対応
	就業(就労)支援
	生活・余暇支援
家族支援	早期発見・早期支援
	家族・保護者支援
地域連携・協働	他の分野との連携
法令・制度・施策	発達障害者支援法
権利擁護	障害者の権利に関する条約及び児童の権利に関する条約

教育と福祉の連携による支援人材育成のための研修コンテンツ配信

<令和4年4月公開予定>

- ◆ 発達障害者支援の専門性のうち、連携・協働に必要な専門性を

6つの領域に整理した

「基礎知識」「指導・支援」「家族支援」「地域連携・協働」「法令・制度・施策」「権利擁護」

- ◆ 領域を更に下の40項目に細分化した

教育と福祉で共通するもの 14項目

教育に関連し福祉関係者に理解してほしいもの 8項目

福祉に関連し教育関係者に理解してほしいもの 11項目

保健・医療・労働で教育・福祉関係者に理解してほしいもの 7項目

- ◆ 項目ごとに初級・中級・上級の3つの段階の到達目標を設定した

- ◆ 福祉と教育で共通性の高い14項目について、モデル研修動画コンテンツ57本を作成し、教育と福祉の連携による支援人材育成に関するモデル研修として配信

モデル研修動画集

教育と福祉の連携のための研修カリキュラム（共通項目14テーマ）の研修動画一覧です。各テーマは「概要」といくつかの「サブコンテンツ」で構成しています。まずは「概要」でテーマの内容や到達目標等をご確認の上、サブコンテンツを視聴してください。
※研修動画及び資料を、個人の学習及び研修目的以外の二次利用（複製、転用等）や営利目的で使用することを固く禁じます

テーマ	研修動画タイトル	所要時間(分)
A-1 発達障害の障害特性の理解	① 概要	
	② 発達障害の障害特性の理解	19
	③ 発達障害の基本的理解 概念と定義	24
	④ 発達障害の基本的理解 分類と特性	27
A-2 発達心理	① 概要	
	② 認知機能および感情・社会性の発達	26
	③ 自己と他者の関係性のあり方と心理的発達	21
	④ 非定型発達	30
A-3 切れ目のない支援	① 概要	2分16秒
	② 連携・情報共有の必要性	15分45秒
	③ 縦と横の連携：乳幼児期	15分26秒
	④ 縦と横の連携：学齢期	16分11秒
	⑤ 縦と横の連携：成人期・まとめ	14分10秒
	⑥ 概要	



「地方自治体等の取組DB」

発達障害支援に関する地方自治体等の取組および関連情報データベース

- 当事者・家族等や支援者の皆さまが必要な情報にアクセスしやすくなり、相互に情報を共有しやすくなるコンテンツの作成を目指します。
- 全国の発達障害者支援センターや地方自治体におけるさまざまな取組や成果物等の情報を集約・整理して、ひろく発信します。
- 発達障害教育推進センターとの連携により、教育分野(特別支援教育)の成果物等も収載予定です。

表示色 標準 ダーク グレー 文字 標準 拡大 言語選択 サイトの使い方



発達障害ナビポータルは、国が提供する発達障害に特化したポータルサイトです。発達障害に関する信頼のおける情報を皆様に提供します。



キーワードを入力

検索



ホーム > 発達障害支援に関する地方自治体等の取組および関連情報データベース

カテゴリでさがす

地域でさがす

ライフステージでさがす

検索する

発達障害支援に関する地方自治体等の取組および関連情報データベース

検索結果

全1083件中 1-25件を表示

【カテゴリでさがす※】【地域でさがす】【ライフステージでさがす】の3つの検索窓によるAND検索機能です。

※カテゴリ

- 相談窓口・支援機関リスト
- 医療機関リスト
- 発達障害者支援センター
- 当事者会・親の会
- 保護者・家族向け支援 (ペアトレ、ペアプロ、メンター含む)
- 啓発パンフレット・リーフレット
- 研修会・イベント情報
- 支援者向け資料
- 教育センター・特別支援教育課
- 特別支援教育
- 教育支援計画
- サポートファイル
- 合理的配慮
- 防災・災害
- 自閉症啓発デー関連
- 障害福祉計画
- 当事者・家族・一般向け資料
- 子どものこころ(の診療拠点病院事業)
- その他

○初期版のプロトタイプはほぼ完成し、情報掲載に係る確認作業などの最終調整中です。

4月下旬～5月上旬の公開を予定しています。

ご清聴ありがとうございました

【お問い合わせ先】

国立障害者リハビリテーションセンター 発達障害情報・支援センター

☎ TEL : 04-2995-3100

✉ E-mail : hattatu-isc@rehab.go.jp